



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 株式会社 ベルーナ

上場取引所 東

コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 松田 智博

TEL 048-771-7753

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	27,184	0.2	1,922	△19.9	1,656	△31.1	946	△17.1
23年3月期第1四半期	27,141	2.2	2,399	70.6	2,405	83.3	1,142	66.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,351百万円 (32.6%) 23年3月期第1四半期 1,019百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	18.89	17.83
23年3月期第1四半期	22.80	21.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	112,017	58,441	52.2	1,165.92
23年3月期	110,595	57,465	52.0	1,146.45

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 58,441百万円 23年3月期 57,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	2.5	2,250	△16.0	2,200	△10.2	1,250	7.9	24.94
通期	109,000	5.4	6,800	1.0	6,700	5.3	4,200	△4.3	83.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	56,592,274 株	23年3月期	56,592,274 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	6,467,479 株	23年3月期	6,467,471 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	50,124,798 株	23年3月期1Q	50,125,539 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、先の東日本大震災による影響が色濃く残る中、復興努力によるサプライチェーンの急速な回復が確認できるものの、原発事故に伴う電力の供給不足、消費マインドの低下に加え、デフレや円高など景気の先行き不透明感が継続しております。

このような環境下におきまして、当社グループは継続的な成長性、収益性、安定性の実現に向け、引き続き顧客ニーズを的確に捉えた商品展開、サービスレベルの向上、Eコマースの拡大に努め、新規顧客及びリピート顧客の拡大を図って参りました。また、財務の健全化の一環として有利子負債の削減を図って参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は27,184百万円（前年同期比0.2%増）となりました。利益面におきましては、ファイナンス事業において営業貸付金及び利息返還請求の減少に伴い関連する引当金繰入額が減少したものの、専門通販事業における積極的な媒体展開などで営業利益は1,922百万円（同19.9%減）となりました。経常利益は、米国子会社の清算に伴い為替差損を計上したことにより1,656百万円（同31.1%減）となりました。四半期純利益は、前連結会計年度に実施した不動産子会社の組織再編に起因した税効果等の影響で、946百万円（同17.1%減）となりました。

〔総合通販事業〕

東日本大震災の影響によりカタログの発行計画にずれが生じたものの、5月以降はカタログ及びインターネット経由ともに売上は回復基調を辿りました。その結果、売上高は18,822百万円（同0.4%増）となりました。セグメント利益は媒体効率の改善などにより929百万円（同6.8%増）となりました。

〔専門通販事業〕

化粧品、健康食品の事業において、通期での増収を実現するため積極的な媒体展開を行いました。その結果、売上高は5,031百万円（同0.8%増）、セグメント損失は67百万円（前年同期はセグメント利益562百万円）となりました。

〔ソリューション事業〕

総合通販事業の商品発送数の増加に伴い、封入・同梱サービスが順調に拡大したことに加え、通信販売代行等の受託サービスもクライアント企業に対する提案型営業が功を奏したため、売上高は1,070百万円（同32.3%増）、セグメント利益は474百万円（同15.0%増）となりました。

〔ファイナンス事業〕

不動産担保金融事業で営業貸付金残高の圧縮を図ったことに加え、国内消費者金融事業でも貸金業法の改正が全面的に施行されたことに伴い貸付金利が低下すると共に新規貸付金額の減少で営業貸付金残高が減少したことにより、売上高は679百万円（同34.2%減）となりました。セグメント利益は、営業貸付金、利息返還請求額及び発生額の減少に伴い関連する引当金繰入額が減少したため420百万円（同33.5%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

賃料収入の低下もあって売上高は286百万円（同11.0%減）、セグメント利益は修繕費等が大幅に減少したことなどにより80百万円（同10.5%増）となりました。

〔その他の事業〕

アパレル卸事業を展開しているフレンドリー(株)並びに和装の店舗展開を行っている(株)BANKAN、(株)わものやは共に堅調に売上を伸ばし、売上高は1,396百万円（同6.5%増）となりました。セグメント利益は原価率が悪化したこともあって、47百万円（47.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は71,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,177百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品が1,628百万円、受取手形及び売掛金が1,266百万円増加したことによるものであります。固定資産は40,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ754百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、112,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,422百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は40,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,423百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2,505百万円増加した一方で、未払法人税等が892百万円減少したことによるものであります。固定負債は12,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ976百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が582百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、53,576百万円となり、前連結会計年度末に比べ447百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は58,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ975百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益が946百万円であった一方、剰余金の配当を375百万円支出したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.2%（前連結会計年度末は52.0%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月12日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間より、子会社である(株)ナースリーは連結納税制度の適用を受け、当社において国内子会社の一体管理が重要になってきたこと、及び専門通販事業内での重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、ビーエヌ インターナショナル ユーエスエー インクが平成23年4月をもって清算終了しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,688	20,571
受取手形及び売掛金	10,937	12,204
営業貸付金	15,793	15,506
有価証券	3,275	3,303
商品及び製品	9,215	10,844
原材料及び貯蔵品	605	194
販売用不動産	4,768	4,763
仕掛販売用不動産	433	433
繰延税金資産	1,356	884
その他	3,231	3,819
貸倒引当金	△1,351	△1,391
流動資産合計	68,954	71,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,154	11,008
機械装置及び運搬具（純額）	129	122
工具、器具及び備品（純額）	473	445
土地	15,125	15,190
リース資産（純額）	372	336
建設仮勘定	55	10
有形固定資産合計	27,310	27,113
無形固定資産		
のれん	361	329
リース資産	959	937
その他	3,881	3,759
無形固定資産合計	5,202	5,026
投資その他の資産		
投資有価証券	1,930	1,978
長期貸付金	1,009	796
破産更生債権等	5,877	5,459
繰延税金資産	1,664	1,362
その他	1,944	1,904
貸倒引当金	△3,300	△2,755
投資その他の資産合計	9,126	8,745
固定資産合計	41,640	40,885
資産合計	110,595	112,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,197	15,703
短期借入金	4,893	4,572
未払費用	5,786	6,111
リース債務	542	555
1年内償還予定の社債	200	200
1年内償還予定の新株予約権付社債	11,000	11,000
未払法人税等	1,117	224
賞与引当金	345	235
返品調整引当金	64	101
ポイント引当金	532	467
災害損失引当金	126	122
その他	1,729	1,664
流動負債合計	39,534	40,958
固定負債		
社債	700	700
長期借入金	8,494	7,911
利息返還損失引当金	2,042	1,819
リース債務	654	550
退職給付引当金	283	284
役員退職慰労引当金	213	213
資産除去債務	432	435
その他	774	702
固定負債合計	13,594	12,617
負債合計	53,129	53,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	46,215	46,786
自己株式	△8,796	△8,796
株主資本合計	59,029	59,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77	△36
為替換算調整勘定	△1,486	△1,121
その他の包括利益累計額合計	△1,563	△1,158
少数株主持分	0	0
純資産合計	57,465	58,441
負債純資産合計	110,595	112,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	27,141	27,184
売上原価	11,408	11,671
売上総利益	15,732	15,512
返品調整引当金繰延差額	13	36
差引売上総利益	15,719	15,475
販売費及び一般管理費	13,320	13,552
営業利益	2,399	1,922
営業外収益		
受取配当金	21	19
為替差益	125	—
その他	108	131
営業外収益合計	255	150
営業外費用		
支払利息	104	97
為替差損	—	275
デリバティブ評価損	69	17
その他	74	27
営業外費用合計	249	417
経常利益	2,405	1,656
特別利益		
償却債権取立益	26	—
特別利益合計	26	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	205	—
特別損失合計	205	—
税金等調整前四半期純利益	2,226	1,656
法人税、住民税及び事業税	774	16
法人税等調整額	309	692
法人税等合計	1,083	709
少数株主損益調整前四半期純利益	1,142	946
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,142	946

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,142	946
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△48	40
為替換算調整勘定	△74	364
その他の包括利益合計	△123	404
四半期包括利益	1,019	1,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,019	1,351
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	18,720	4,993	765	1,033	317	1,311	—	27,141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	0	43	—	4	—	△74	—
計	18,747	4,993	809	1,033	321	1,311	△74	27,141
セグメント利益	870	562	412	315	72	90	75	2,399

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳108百万円とのれん償却費△32百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	18,804	5,015	1,001	679	286	1,396	—	27,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	16	69	—	—	—	△104	—
計	18,822	5,031	1,070	679	286	1,396	△104	27,184
セグメント利益(又は セグメント損失△)	929	△67	474	420	80	47	37	1,922

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳70百万円とのれん償却費△32百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、本日付の取締役会において、自己株式を取得することを決議いたしました。詳細につきましては、本日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。